

## 会議録

会議名	令和7年度第2回東松山市文化財保護委員会議				
開催日時	令和7年10月27日（月）			開会	13時30分
				閉会	15時00分
開催場所	東松山市総合会館3階 301会議室				
会議次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) 令和7年度事業進捗状況について (2) 令和8年度事業計画（案）について 4. 報告 5. その他 6. 閉会				
公開・非公開の別	公開	傍聴者数		0人	
非公開の理由 (非公開の場合)					
委員出欠状況	委員長	小澤 謙一	出席	委員	栗原 直子
	副委員長	小澤 弘	出席	委員	林 龍生
	委員	荒井 豊	出席	委員	柳 正博
	委員	内田 博	出席		
事務局	田嶋 靖洋 生涯学習部長			佐藤 幸恵 埋蔵文化財センター主幹	
	田島 信子 生涯学習部次長			矢口 翔馬 埋蔵文化財センター主査	
	上 敏文 生涯学習課長			梶ヶ山 廉 埋蔵文化財センター主事補	
	左納 徹 埋蔵文化財センター所長				

次 第	顛 末
1.開 会	左納所長
2.あいさつ	小澤謙一委員長
会議の公開、会議録署名委員の指名	<p>○会議の公開、傍聴人、会議録署名委員の指名について          (左納所長) 会議を公開とするか非公開とするか、傍聴人の申込みがなかったこと、会議録の署名委員を指名することについて、説明。</p> <p>・会議については公開、傍聴人は申込がなかった。会議録署名委員は荒井委員と栗原委員を指名することについて、全員了承。</p>
3.議 題	<p><b>(1) 令和7年度事業進捗状況について</b></p> <p><b>●文化財啓発事業</b></p> <p>(矢口主査) 説明。</p> <p>(柳委員) 野田の獅子舞が再開した。子供が年を追うごとに少なくなっている。ある小学校では50年前と比較して、5分の1程度まで減っている。東松山市の民俗芸能でも後継者不足が課題になっている。</p> <p>(小澤謙一委員長) 今年ときがわの獅子舞を見学したが、女性がはやしつこを務めるほか、獅子舞自体を暑さ対策から秋だけの開催にする等の工夫を凝らしている。民俗芸能をやめるのではなく柔軟な対応で続けていく方法もある。</p> <p>(柳委員) 嵐山町の獅子舞を見学したが、夏の猛暑の中で開催していたので、民俗芸能を継続する面でも秋の開催は良い。</p> <p>(林委員) 民俗芸能の後継者不足の課題で、ある団体が一時的に休止するとの話があった。理由として、出演したい人がいないのではなく、内部での意見の食い違いによるものであった。人手不足だけではない課題がある。</p> <p>(小澤弘委員) 立正大学との連携について、様々な機関と連携をすることは良い。特に大学との連携は素晴らしい。立正大学地域研究センターとの連携はしているか。</p> <p>(矢口主査) 連携はしていない。</p> <p>(小澤弘委員) 昨今では少子化が進んでいるので、参加する若い人が少ない。今後大学などから要望があれば連携を行い、若い力を常に取り入れると良い。</p> <p>(栗原委員) 毎年千年谷公園で行われている民俗芸能祭の出演時間を今より長めにすることは可能か。</p> <p>(小澤謙一委員長) 午前中に4団体の出演が終わるのか。</p>

(佐藤主幹) 昼に終わらない。見物人の状況を見ながら、1団体2回ずつ民俗芸能を披露している。

(矢口主査) 以前、5団体でローテーションを組んだこともあったが、見物人の状況から、4団体でローテーションを組むのが最適と考えている。今年度は千年谷公園が20キロコースから外れ、見物人が減る可能性がある。今後会場の状況によっては、出演団体数を調整することなども提案していく。

### ●文化財保存事業

(矢口主査) 説明。

(柳委員) 草の伐採業務について、皮膚のかぶれ等に気を付けて業務を行っていただきたい。

(内田委員) 大谷瓦窯跡のカタクリは、順調に増えているのか。

(矢口主査) 順調に増えている。毎年時期になると葉が出ている。

(佐藤主幹) カタクリは植えてから1年目に糸状の葉が出て、2~7年目に楕円形の葉が1枚、7~9年目に花が咲くと聞いている。増え方は地下茎で増えるか種を植えて増えるかのどちらかである。

(内田委員) 種を植えてから何年くらい経過しているか。

(矢口主査) 5~6年以上経過している。

(小澤謙一委員長) 花が咲くのに数年かかるのか。

(佐藤主幹) 種から植える方法だと7~9年かかる。最初は種から植えた。

(矢口主査) 定着するか心配もしたが、今は問題ない。

(小澤謙一委員長) 「毛塚の石仏」の状態はどうか。

(矢口主査) 毛塚公会堂から北上した宅内の裏手に所在する。材質は緑泥石片岩で、仏様が刻まれている。かつて専門調査員会で指摘頂き、石仏の傾きを修正したことがある。

(小澤謙一委員長) 正代の板石塔婆を移設することに問題はないか。

(矢口主査) 板石塔婆の性質を考えると、初めから今の場所に据えられていたものでなく、移設そのものに問題はない。板石塔婆の覆屋も移設する必要がある。

(小澤謙一委員長) 覆屋は東松山市で作ったのか。

(矢口主査) 所有者が設置し、市がその費用の一部を補助している。

(林委員) 移設する場合、見やすい道路の脇が良いのではないか。奥にある場合、見学者が私有地を通行することになる。

(矢口主査) 現状板石塔婆を見る際は宅内を通る必要がある。今後、移設する際は、見やすい位置への移設を所有者に要望する。

### ●文化財調査事業

(矢口主査) 説明。

質問無し。

### ●埋蔵文化財センター運営事業

(矢口主査) 説明。

質問無し。

### \*全体をとおしての質問

(栗原委員) 八雲神社の覆屋修繕工事について、車の排気ガスなどが社殿に当たらないように対策をするか。

(矢口主査) 当該工事は、新しい機能を追加するものではなく、覆屋の屋根の葺き替えや鉄柱の鏽びた部分の塗りなおし等、劣化部分を修繕するものである。排気ガス対策のために全てを覆うと、湿気などが内部に溜まってかえって悪影響がある可能性もある。排気ガスによる社殿への影響はないと考えている。

(栗原委員) 八雲神社社殿の清掃は行っているか。

(矢口主査) 地域の方々が神社を有志で清掃することははあるが、社殿そのものを清掃していることは無いと認識している。なお、文化財専門調査員の横山調査員より、一部外れかかっている彫刻の修繕には大きな金額が必要になるので、先々を見通した上で修繕計画を立てると良いとの提案を頂いている。

### (1) 令和8年度事業計画（案）について

(矢口主査) 説明。

(小澤弘委員) 再構築する遺跡管理システムはサブスクリプションでの契約か、あるいは買い切りでの契約か。また、中間業者は入るのか。

(矢口主査) リース契約を想定している。

(小澤弘委員) 中間業者が入ると事業費がかさむため、納入業者と直接契約する方法が良い。また、現行システムのデータ移行ができる点も良い。

(栗原委員) 昨年度の民俗芸能大会は良かったが、今後5年に1回程度は

	<p>開催する予定か。</p> <p>(佐藤主幹) 今年も開催する第49回民俗芸能祭について、最初の頃は市民文化センターで毎年開催されていたが、次第にお客さんが入らなくなつたのでスリーデーマーチ会場に移つたと聞いている。その経緯から民俗芸能保存連絡協議会では毎年市民文化センターで開催するのは難しいという意見で一致している。数年後には開催するのは良いと考える。</p> <p>(栗原調査員) 後継者不足の解消など、市民が民俗芸能祭で文化財を知るきっかけになると良い。</p> <p>(柳委員) 民俗芸能を披露する機会を設けることは、出演者のモチベーションを上げるきっかけにもなる。</p> <p>(左納所長) 民俗芸能大会の開催時期について、民俗芸能保存連絡協議会の加盟団体の意見を聞きながら、今後検討していく。</p> <p>(小澤謙一委員長) 可能な範囲で多く開催していただきたい。</p>
4. 報 告	<p>○令和7年度第2回(6月)市議会一般質問について 井上聖子議員「将軍塚古墳の管理について」 (矢口主査) 説明。 質問なし。</p>
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「10万人が探したメガロドン」を配布</li> <li>・合同研修会について</li> <li>・次回会議日程について</li> </ul>
あいさつ	田嶋生涯学習部長
6. 閉会	左納所長
上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。	<p>令和7年11月28日 署名委員 <u>荒井 豊</u></p> <p>署名委員 <u>栗原 直子</u></p>